

年末年始、帰省先での子どもの事故に気を付けて！

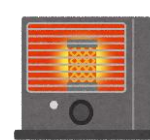


※子どもは自宅とは違う環境では、見慣れない物に興味を持ち、何でも触りたがりますので、事故防止対策を取りましょう！

(1) 3歳の子どもが帰省中にはしゃいでいて、左手をストーブの上についた。手のひら、指、手首などにやけどを負った。

(2) 実家へ帰省中、0歳の子どもが口をむしゃむしゃやっているとと思ったら、たばこを食べており、その後嘔吐（おうと）した。つかまり立ちをして、棚の上にあった祖父のたばこを床に落とし、それを食べたようだ。

(3) 自宅では卓上で鍋料理をすることはないが、実家で電気鍋を囲んで食べていた時に、2歳の子どもが鍋の縁に触ってやけどしそうになった。



<アドバイス>

1、子どもが帰省したら、子供目線で室内外の危険な場所や物を確認し、事故防止対策を取りましょう！！

（普段こどもが暮らしていない家では思いがけない事故があります）

2、子どもが触ったり、誤飲したりする可能性のある物は、こどもの目や手の届かないところに片づけましょう！！

（こどもにとって危険なものを、帰省先の親などと認識を共有しましょう）

3、普段、自宅で使用しない暖房器具がある場合は、近くに行けないようにしましょう！！

（子どもの成長に応じて、危険性を教えていきましょう）

4、卓上で調理をする際は、鍋やホットプレートに子どもの手が届かない席に座らせるなどの工夫をしましょう！！

5、周囲の大人は常に子どもの行動に気を配り、目を離さないようにしましょう！！（料金の当日の支払いや契約を断った時の反応で起こりやすいです）

1つでも心当たりがあったら、
お住いの地域の消費者センター（相談窓口）もしくは消費者ホットライン188へ電話！！